

いいだ市議会だより

No.226

IIDA City council



議会の今をお届けします

令和3年12月21日

編集／広報広聴委員会

発行／飯田市議会

〒395-8501 長野県飯田市大久保町 2534

R80
古紙配合率80%紙

議会活動報告 特別号



いいだ市議会だより 臨時号の発行にあたり

飯田市議会では、毎年10月に「議会報告・意見交換会」を実施しております。今年度も開催すべく準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当地域を含め長野県の警戒レベルが上がり、感染拡大防止と市民の皆様の安全を第一に考え、今年度は中止とさせていただきます。

当市議会は、市民の皆様に対する議会活動の報告や声をお聴きすることを議会活動の基本と考えております。この度、中止となった「議会報告・意見交換会」に代えて、議会だより「議会活動報告 特別号」を発行いたしました。2年間の議会活動の報告と議員改選後の今後の取り組みについての内容となっております。

なお、新型コロナウイルスの状況を見ながら、委員会の調査活動のため、今後改めて、市民の皆様の声をお聴きし、意見交換を行う場を設けたいと考えております。

議会をもっと身近に感じていただき、「議会は自分たちのもの」と思っていただけのように、市議会一丸となり、「変革」に取り組んでまいります。

各委員会の調査報告内容は、主な報告のみとなっており、各ページQRコードより詳細については、各ページQRコードより市議会ホームページをご覧ください。

総務委員会

委員会活動の状況などは飯田市議会ホームページをご覧ください。



令和2年度の

総務委員会の活動について

市民が誇りを持てる『環境モデル都市』
『環境文化都市』の実現に向けて

令和2年度の議会報告・意見交換会において、全ブロックのまちづくり委員会から、「市民の間に『ごみをどこの集積所に出してもよい』という誤った認識が広まっている」との意見がありました。ごみの問題は早期対応が必要と考え、市の所管部局に申入れを実施。改めて、市の公式見解を各まちづくり委員会に回答しました。

さらに、意見交換会を通じて、「好事例の横展開」「成果や数値の見える化」「子どもたちの取り組み」、このキーワードをもとに令和3年3月に「市民が誇りを持てる『環境文化都市』の実現に向けて」と題して、政策提案を行いました。



地域の自主防災施設などの現状を確認しました。

提案内容は、以下の4点。(一部要約)

- ▼市民団体の活動を広く市民に知ってもらう機会も含め、他地区の取り組み事例を共有できる場を創設されたい。
- ▼市民の環境に対する意識を高めるためにも、現状と取り組みの効果や目標となるような成果や数値として可視化することを推進されたい。
- ▼「環境について大人も子どもも互いに学びあい、ともに実践する飯田市」を目指した施策展開をされたい。
- ▼環境モデル都市の指定や環境文化都市宣言を多くの市民が知ることができると対応をされたい。

令和3年5月からの

総務委員会の活動について

「地域自主防災体制は維持できるか」をテーマに委員会活動を進めます

人口減少・高齢化に伴う自治会加入率の低下や担い手不足、やらされ感・負担感といった地域活動の悩みは、全20地区が同じように直面し、地域コミュニティ機能の低下が危惧されます。

そのような中、近年多発する豪雨災害や大規模地震に備え、各地区自主防災会の役割は非常に大きくなっており、地域コミュニティ機能の低下は被害の拡大を招きかねない重大な課題といえます。

当委員会では、7月に防災施設を含む管内視察を、10月に「防災の取り組み」等をテーマに新潟県糸魚川市の視察を実施しました。人口減少時代における地域コミュニティのあり方について、三六災害から60年の節目にも当たる年でもあり、防災意識社会の構築に向けて、防災をテーマとして委員会活動に取り組んでいきます。



社会文教委員会

委員会活動の
状況などは
飯田市議会
ホームページを
ご覧ください。



令和2年度の
社会文教委員会の活動について

子どもを見守り育む地域社会について

令和2年度の議会報告・意見交換会において社会文教委員会が担当した分科会では、市民の皆さんの参加・協力により「課題共有型えんたく会議」の手法を活用した意見交換を実施しました。そこから得られたご意見を生かすとともに、調査研究課題への取り組みを踏まえ、市の所管部局に対して政策提案を3月に実施しました。

提案内容は、以下の大きく2点。(一部要約)

▼「コロナ禍において、「孤立を防ぐための居場所」や「地域や友人との多様なつながり」が重要となっている。子育て世代を対象に「社会的処方」やオンラインの活用など「新しい生活様式」に対応したつながりを構築されたい。
▼子育て世代を含めて、「誰一人取り残されないコミュニティ」を形成するために、多様な主体が連携・協働することが重要である。地区の実情に応じた「社会的処方」の研究・実践を進められたい。



子育てに関する情報や妊娠・出産・子育て期を中心とした様々な関連コンテンツが楽しめる『いいだ子育て応援アプリ』の提供が7月よりスタートしました。

令和3年5月からの

社会文教委員会の活動について

「健康長寿の延伸」をテーマとした

調査研究をスタート

7月から実施してきた「議会による行政評価」や9月に行った令和2年度決算審査を通じて、介護や保健事業においては、「予防」や早期の「健康づくり」が重要になることを改めて認識しました。そして、「予防」などを推進するためには、取り組みの実績・効果をきちんと検証・分析するとともに、その結果などを市民の皆さんに理解していただけるようにすることが大切だと考えています。



社会文教委員会は、保健、福祉、介護、医療、学校教育、公民館などの分野を所管しています。今後、学校や教育における課題などについても調査研究していく予定です。

委員会としては、10月に「フレイル予防対策とその評価について」と題して、日本福祉大学の宮國先生を講師に招いて講義を聴くとともに、11月に市の介護予防事業等実態把握調査結果報告会を聴講しました。
フレイル予防の講義では、「人のつながりがフレイル予防につながるというが、どのように関係しているか」「個人の約半分は健康のためにも何もしない、行動変容をいかに起こすか」「本当に改善して欲しい人に届けるにはどうしたらよいか」「フレイルやうつリスクの地域差の要因は何か」など、委員の所感が出されました。
今後の委員会では、「健康長寿の延伸」について、さらに調査研究を進めていきます。市民の皆さんからのご意見などもお寄せいただきたいと思います。

産業建設委員会

委員会活動の
状況などは
飯田市議会
ホームページを
ご覧ください。



令和2年度の

産業建設委員会の活動について

遠山郷の指定管理施設の運営状況について

令和2年度の議会報告・意見交換会において産業建設委員会では、6月にまとめた所管事務調査の概要を報告しました。

その後、南信州しらびそ高原「天の川」の施設視察と指定管理者の大空企画、南信州観光公社との意見交換を実施し、市の観光課が所管する4施設についても説明を受けました。調査研究、検証を踏まえ、市の所管部局に対し、政策提案の実現に向けた取り組みを引き続き実施するために、5項目の政策提案を行いました。



提案内容は以下の5点。(一部要約)

- ▼産業経済部に対して行った提言を適時的に執行されたい。
- ▼三遠南信自動車道の開通を見据えた遠山郷の地域づくりのため、特に、観光振興におけるビジョンを地域の皆さんと一緒に策定し、推進されたい。
- ▼リニア・三遠南信時代を見据え、地域住民の意欲や活力を大切に、地域経済に資する産業として、観光振興を推進されたい。
- ▼コロナウイルス感染対策、資金や人材確保等厳しい状況ではあるが、安定的な市有施設の管理運営を目指して、地域と緊密な連携を図りながら推進されたい。
- ▼以上のことについて、状況報告を行い適時適切に公表されたい。

令和3年5月からの

産業建設委員会の活動について

『コロナ収束後を見据え、
飯田への人の流れをつくるには』
をテーマとして調査研究をスタート

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、都会から地方への企業移転や移住が進み、県をまたいだ移動の自粛や、巣ごもりを余儀なくされるなど、生活が大きく変わりました。

しかし、当市においては地方への回帰の動きをあまり感じることができません。この動きを当市にも波及させるためには、行政だけではなく市民一人ひとりができることに取り組むことが必要な時期に来ていると感じています。

これからの取り組みについて

コロナ収束後を見据えて、飯田市への人の流れをつくるためには、各地区でどのような取り組みができるのか、20地区で作成されている「基本構想・基本計画」や既に取り組みを行っている事例を基に、各地区の皆さんと意見交換を行っていきます。



自然豊かな南信州！流行のアウトドアの魅力を体験や発信することも地域活性化に！

広報広聴委員会

委員長 福澤 克憲 副委員長 清水 勇
委員 下平 恒男 橋爪 重人 関島 百合 筒井 誠逸 小林 真一 佐々木博子